

省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

ICTを活用した高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、労働負担の軽減や労働力不足解消に向けたスマート農業の推進などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図る。

これまでの主な取組・成果

■ ICTの活用など、高収益で安定的な生産体制の整備 [民間、市町村、振興局]



◀ オホーツクスマート農業セミナー2023

開催日：令和5年3月14日

場所：北見市

概要：大学や民間企業と連携し、地域農業の課題解決に向けたスマート農業の研究及び技術実証の状況や、最新のスマート農業技術について広く情報提供。



◀ ケガニ栽培漁業に係る基礎技術水産開発試験の開始

場所：東京農業大学

概要：オホーツク管内ではケガニ資源が低水準にとどまっている。種苗の生産方法等が確立されていないことから、増養殖に係る基礎研究を推進する。

■ 担い手の育成・確保 [民間、市町村、振興局]



◀ 林業PR動画の作成

概要：オホーツク地域の林業に興味を持ってもらい、就職の選択肢の一つとしてもらえるよう、仕事の魅力などを林業就業者が紹介する動画を作成し、動画共有サイトで配信。

北見地域地材地消見学会

開催日：令和4年10月19日

場所：北見市

概要：地域材の活用に向けた意識の醸成や地元企業への就業機会創出を図るため、北見高等技術専門学院の学生を対象に、人工林伐採現場等の見学会を開催。

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	52.3% (R2)	64.6% (R3)	78.9% (R7)	81.9%
建築材等の出荷量	45.5千m ³ (R2)	48.7千m ³ (R4)	51.9千m ³ (R7)	93.8%
地域住民との協働による森林づくり参加者数	9,907人 (R1)	8,987人 (R4)	10,400人 (R7)	86.4%
衛生管理型漁港の整備	4港 (R2)	4港 (R4)	6港 (R7)	66.7%

R6年度の主な取組

■ 屋根つき岸壁、取排水施設など衛生管理に配慮した漁港整備の推進 [振興局]

■ 担い手の確保に向けた、東京農業大学生向けの就農セミナーの開催や美幌高校及び大空高校における出前授業の実施 [大学、高校、金融機関、振興局]

■ 木育マイスターと連携したイベントの実施や教育関係機関等との協働による木育の推進 [国・振興局・市町村・民間]

豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上、起業・創業に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図る。

これまでの主な取組・成果

■管内産品の認知度向上及びブランド化 [民間、市町村、振興局]

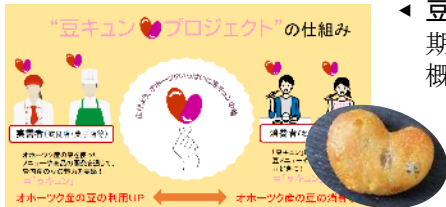


◀ 「地場産たくさんオホーツク弁当」
 (通称：オホ弁) の開発・販売
 概要：管内産品の認知度とブランド力の向上を図るため、令和4年4月から4種類の「オホ弁」の販売をスタート。令和5年3月には新たに4事業者が加わり、現在は計8種類を販売中。



◀ オホーツク管内高付加価値化研修会
 開催日：①令和4年12月22日
 ②令和5年1月24日
 場所：会場（北見市）及びWeb
 概要：6次産業化に取り組む農業者を対象に、高付加価値化の新たな担い手の育成や既存直売所の集客・売上アップなどを目的とした「直売所の作り方講座」を開催。

■オホーツクの良質な農水産物の販路拡大 [振興局]



◀ 豆キyunプロジェクト
 期間：令和5年3月1日～14日
 概要：管内の事業者におホーツク産の豆を提供し、メニュー・商品の開発を通じて管内産の豆の魅力を実感してもらうことで、継続的な販売につなげ、管内産の豆の利用拡大を図る。R4年度は7事業者が参加し、14点の新メニュー・商品が誕生。



◀ 販路拡大に向けた大都市圏でのPR
 ①オホーツク産品フェア in だんごプラザ 羽田空港店
 [期間] 令和4年7月20日～26日
 ②北海道オホーツク地域フェア in 高島屋大阪店
 [期間] 令和4年9月28日～10月4日
 ③オホーツクフェスタ in 東京都庁
 [期間] 令和4年10月5日～11日

評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
「オホーツクブランド認証」新規認証件数	延べ18件 (R2)	延べ52件 (R2～R4)	延べ50件以上 (R2～R6)	104.0%
農業団体の農畜産物輸出量	1,634 t (H30)	1092.1 (R4)	1,800 t (R6)	60.6%
EU-HACCP取得業者数	7業者 (R2)	9業者 (R4)	9業者 (R7)	100.0%

R6年度の主な取組

- 「地場産たくさんオホーツク弁当」の管内外へのPRを通じた、管内産品の認知度向上及び高付加価値化 [振興局、民間]
- 道内外における北海道どさんこプラザマーケティングサポート催事制度等を活用した販路拡大の促進 [振興局]
- 管内農畜産物を使用した飲食店、菓子店等を回るスタンプラリーを開催 [振興局、民間]

多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

オホーツク A I 活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、オホーツクの優位性を活かした新しい旅行スタイルを推進する。さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致など、オホーツクへの来訪促進の取組を総合的に展開する。

これまでの主な取組・成果

■管内18市町村が連携した地域PR [市町村、振興局]



◀ ポータルサイトを活用した地域PR情報の発信
開設日：令和4年4月1日
概要：管内18市町村と振興局が一体となって運営可能な総合的なプラットフォーム「オホーツクールNOW」を開設し、地域の様々な情報や魅力を一元的に発信。

■市町村と連携した道内外での観光プロモーション [市町村、振興局]



- ①名古屋市
〔期間〕令和4年7月2日～3日
- ②大ほっかいどう祭（札幌ドーム）
〔期間〕令和4年8月6日～7日
- ③ツーリズムEXPOジャパン2022（東京都）
〔期間〕令和4年9月22日～25日
- ④オホーツクフェア inチ・カ・ホ（札幌市）
〔期間〕令和5年1月18日～19日

■魅力ある地域資源を活用した地域PR動画の作成・発信 [市町村、振興局]



◀ 「オホ☆キャラ隊集合！ガチンコ★網走監獄クイズ！！」の公開
公開日：令和5年2月27日
概要：建物の一部が重要文化財に指定されている「博物館 網走監獄」を舞台に、管内市町村のご当地キャラ隊が歴史や文化をクイズ形式で紹介。

■外国人観光客の受入体制づくりの推進 [振興局]

講演会「インバウンドおもてなしのコツ

～より良いコミュニケーションを目指して～

開催日：令和5年2月22日

場所：斜里町ウトロ漁村センター

概要：地元自治会や観光協会等を対象に、外国人旅行者を受け入れる地域として必要な心構えなど、先入観にとらわれない対応方法について、災害時も見据えた受入体制の向上を図るための講演会を開催。

評価指標 (KPI)

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「オホーツク地域に行ってみたい」と考える人の割合	64.9%(R2)	58.1%(R4)	70.0%(R7)	83.0%
観光入込客数	885.1万人(H30)	807.9万人(R4)	988.0万人(R6)	81.8%
管内空港利用客数	32.1万人(R2)	78.5万人(R4)	116.2万人(R6)	67.6%

R6年度の主な取組

- オホーツク応援大使を務めるロコ・ソラーレと管内市町村による地域PR動画の作成・発信 [オホーツク A I 推進協議会・市町村]
- 市町村と連携した道内外での観光プロモーションによる交流・関係人口拡大の推進 [市町村、振興局]
- 市町村、観光協会、事業者等と連携した観光人材の育成支援事業などによる、国内外の観光客の受入体制整備 [市町村、振興局]

オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

オホーツクの豊かな農林水産資源を活かした地域産業力の向上や、地域情報の発信、優れた自然環境をはじめとした多様な地域資源などを活かすことにより、オホーツクの魅力を向上させ、産業・雇用の創出をはじめ、関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 地域公共交通など地域資源を活用した「オホーツク愛」の醸成 [民間、振興局]



◀ ちびっこフリーパス

期 間：令和4年7月23日～8月7日

概 要：公共交通の活性化及び利用促進を図るとともに、管内の子ども達が地域を知り、体験することで地域への愛着心の醸成を図ることを目的に、小学生以下の子ども等を対象に、期間限定で乗合バスが定額で乗り放題となる「ちびっこフリーパス」を販売。

■ 移住交流フェアへの出展 [市町村、振興局]



◀ 北海道移住交流フェア2022

開催日：令和4年10月15日

場 所：OMM展示ホール（大阪府）

概 要：オホーツク地域への移住・定住の促進や関係人口の拡大を図るため、管内市町村の魅力PRや仕事情報を発信。

■ 新規学卒者等の地元就労、離職防止及び職場定着の推進 [民間、市町村、振興局]



◀ 人材確保・定着促進セミナーの開催

開催日：令和4年11月15日～17日

場 所：北見市、網走市、紋別市

概 要：オホーツク管内の中小企業を対象に、人材の確保力及び定着力の強化に向けたセミナーを開催し、若年者人材の確保や職場定着を促進。



◀ 高校生向け出前型ワークショップ

開催日：令和4年11月9日

場 所：雄武高等学校

概 要：高校生を対象に、地域の仕事の魅力や地元で働く選択肢があることを知ってもらうため、地域で働く社会人と連携したワークショップを実施。

評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規高卒者の管内就職内定率	67.7% (R2)	70.1% (R4)	75.0% (R6)	93.5%
「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	66.2% (H28～R2平均)	77.8% (R3)	71.8%を上回る (R3～R6平均)	108.4%

R6年度の主な取組

■ 「公共交通に乗って流氷を守ろうキャンペーン」の実施など、環境意識の啓発や地域公共交通の利用促進 [民間、振興局]

■ 移住交流フェアへの出展や移住定住のガイドブックの作成など、関係人口の拡大や移住定住の促進 [振興局]

■ 地元企業を訪問・見学する「バスツアー」の開催など、若年者や女性等を対象とした多様な人材の地元就労等の推進 [振興局]

豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

知床世界自然遺産や流氷など、オホーツク地域が誇る豊かで優れた自然環境を保全し、次世代に継承するとともに、バイオマス資源などを有効に活用した再生可能エネルギーの利活用、森林の適切な整備や森林資源の循環利用などを推進することにより、自然との共生を図りながら、持続可能な脱炭素型の地域づくりを進める。

これまでの主な取組・成果

■民間企業と連携したゼロカーボンオホーツクの推進 [民間、振興局]



◀ アウトドア用品店「秀岳荘」とのコラボによるノベルティの作成や情報発信力の強化

概要：令和4年10月、秀岳荘白石店（札幌市）にて、環境に配慮した商品やパネルの展示を行う「ポップアップパネル展」を開催。エコボトル、エコバッグ等のコラボグッズを作成し、アンケート回答者に配布。令和5年1月、「ゼロカーボン・オホーツクの取組推進」等について、（株）秀岳荘と包括連携協定を締結。

■「オホーツク流氷トラスト運動」を通じた環境意識の醸成 [市町村、振興局]



◀ オホーツク流氷トラスト運動PR動画「流氷、人、未来。」の公開

概要：漁業従事者や知床の観光ガイド会社代表など、流氷に関わりを持つ4名のキーパーソンに、地域の現状や流氷の重要性等についてインタビューした動画を公開。

■脱炭素に向けた効果的な取組を進めるため、市町村との連携共有を図る「オホーツク管内ゼロカーボン連携ネットワーク」を設置 [市町村、振興局]

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町村 (R2)	7市町村 (R4)	9市町村 (R7)	77.8%
新エネルギー発電設備容量	27.1万kw (R1)	29.1万kw (R3)	48.0万kw (R7)	60.6%
間伐の実施面積	—	2,334ha/年 (R4)	2,437ha/年 (R3~R7)	95.8%
エゾシカ捕獲目標達成率	—	57.5%	100.0% (R3~R7)	57.5%

R6年度の主な取組

- オホーツク流氷トラスト応援団を活用した産官学民共働による持続可能な地域づくりの推進 [民間、市町村、振興局]
- NFTの活用等による幅広い層に向けた脱炭素機運醸成や行動変容の促進 [民間、市町村、振興局]
- 木材利用の意義をPRする木製品の製作や動画の発信など、木製品の利活用促進による脱炭素化の促進 [振興局]

評価指標（KPI）一覧

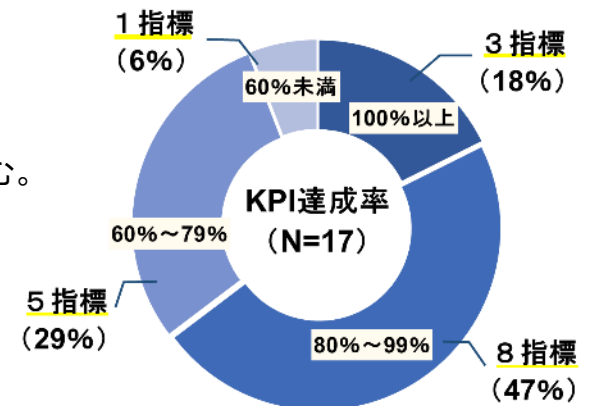
プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	52.3% (R2)	64.6%	集計中				78.9% (R7)	81.8%
	網走東部流域における森林伐採面積以上の造林面積の確保 (造林面積/伐採面積 \geq 1)	0.74 (R1)	0.64	0.95				1.00 (R7)	94.6%
	建築材等の出荷量	45.5千m ³ (R2)	53.6千m ³	48.7千m ³				51.9千m ³ (R7)	93.8%
	地域住民との協働による森林づくりの参加者数	9,907人 (R1)	4,637人	8,987人				10,400人 (R7)	86.4%
	衛生管理型漁港の整備	4港 (R2)	4港	4港				6港 (R7)	66.7%
豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト	「オホーツクブランド」新規認証件数	延べ18件 (R2)	延べ41件	延べ52件				延べ50件 (R2~R6)	104.0%
	農業団体の農畜産物輸出量	1,634t (H30)	346.8t	1092.1t				1,800t (R6)	60.6%
	EU-HACCP取得業者数	7業者 (R2)	8業者	9業者				9業者 (R7)	100.0%
多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	「オホーツク地域に行ってみたい」と考える人の割合	64.9% (R2)	63.0%	58.1%				70.0% (R7)	83.0%
	観光入込客数	885.1万人 (H30)	603.3万人	807.9万人				988.0万人 (R6)	81.8%
	管内のスポーツ合宿実施件数	429件 (R1)	199件	集計中				増加させる (R7)	—
	管内空港利用客数	32.1万人 (R2)	50.6万人	78.5万人				116.2万人 (R6)	67.6%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト	新規高卒者の管内就職内定率	67.7% (R2)	70.0%	70.1%				75.0% (R6)	93.5%
	「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	66.2% (H28~R2 平均)	66.7%	77.8%				71.8% を上回る (R3~R6 平均)	108.4%
豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町村 (R2)	4市町村	7市町村				9市町村 (R7)	77.8%
	新エネルギー発電設備容量	27.1万kw (R1)	29.1万kw	集計中				48.0万kw (R7)	60.6%
	間伐の実施面積	-	2,693ha/年	2,334ha/年				2,437ha/年 (R3~R7)	95.8%
	エゾシカ捕獲目標達成率	-	147.1%	57.5%				100.0% (R3~R7)	57.5%

分析・対応方向

- ✓ 17の評価指標のうち、11項目で80%を超え、うち3項目で目標値を達成した一方、1項目において60%未満の進捗率となった。
- ✓ 『管内への観光入込客数』ならびに『管内空港利用客数』は、いまだ新型コロナウイルス感染症の影響が見られるものの、インバウンドを中心に回復の兆しが見受けられる。
⇒ 引き続き、コロナ感染拡大前の水準への回復に向け、交流・関係人口の拡大に取り組む。
- ✓ 『「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合』は、昨年度から大幅に増加し、進捗率が目標値を超えた。
⇒ 管内の学生等に向けた人口定着の取組を継続的に展開してきたことが要因と見られ、引き続き、多様な地域資源を活かした地元愛の醸成や移住・定住の促進に取り組む。
- ✓ 『ゼロカーボンシティ表明市町村数』は、脱炭素に向けた機運の高まりにより着実に増加している。
⇒ 引き続き、「オホーツク流水トラスト運動」の周知PRや「ゼロカーボン北海道」の普及啓発を通じ、地域住民等のゼロカーボンに対する意識醸成に取り組む。



R 6 年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
オホーツク「サステナブル」アグリ促進	オホーツク管内の輪作体系の確立、耕畜連携の検討、省力化の農業生産を図るスマート農業技術向上や、農業生産工程管理（GAP）の手法を取り入れ、コスト低減に向けた効率的で生産性・持続性の高い農業を導入促進する。	①
農村を支える多様な担い手確保推進事業	農業・農村地域においては担い手不足が深刻化する一方、コロナ禍で農業や地方への移住が注目されていることから、従来型の大規模畑作・酪農だけではなく、多様な就農形態の可能性を示すことにより、新規就農者及び雇用労働者の確保を目指す。	①④
オホーツク東部流域材活用推進事業	道内屈指の林業地帯で木材の産地である東部流域において「北見の地域材活用推進の会」と連携し、情報交換会や研修会等を開催するなど、さらなる地材地消と販路拡大の取組を推進する。	①
オホーツク「食」のブランド加速化事業	オホーツク地域のブランド力向上のため、地域の産官学金の連携により地域資源を活かした加工食品の国内外への発信、販路開拓、それらを担う人材の育成を支援するとともに、商品の開発や磨き上げ等を支援し、食関連産業の振興を図る。	②
知る・学ぶ・食べるdeオホーツク農業応援事業	オホーツク地域は全道2位の農業生産を誇るが、認知度は高くないことから、オホーツク地域の農畜産物の魅力を「知る」、「学ぶ」、「食べる」ことにより、農村地域の活性化を促進し、生産者、消費者、実需者の新たな連携を創出する。	②③
持続可能でcoolなオホーツク！連携推進事業	社会変革を捉えた持続可能で活力ある地域づくりに向け、地域の多様な主体と協働し、地域資源を活用した脱炭素化に資する取組や魅力発信強化、地元愛の醸成を図る。	③④⑤
世界とつながるオホーツク観光ステップアップ事業	観光需要の回復と、新たな需要の獲得に向け、国内外に向けた受入体制整備、情報発信強化、プロモーションに取り組み、年間を通じた観光の振興を図る。	③

R 6 年度におけるオホーツク総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
「世界自然遺産・知床の日」活性化推進事業	平成28年3月に設定した「知床の日(1/30)」の理解・浸透が沈滞化していることから、活性化を推進するため講演会やPRを行い地域住民や来訪者等の理解の増進を図るとともに知床世界自然遺産地域における来訪者の回復に寄与する。	③
オホーツク地域人材確保・定着促進事業	人手不足の深刻化やコロナの影響を受けている業種を対象とし、管内企業の人材確保と職場定着を促進することで、オホーツク地域の経済・雇用の活性化を図る。	④
ゼロカーボンオホーツク推進事業	知床や流氷などオホーツクが誇る自然環境保全と合わせ、地域の特徴などを活かした脱炭素・循環型社会の形成を推進するとともに、「環境先進地オホーツク」というクリーンイメージの形成を図る。	⑤
脱プラ！着モク！脱炭素化促進事業	木材の有効利用による環境面での貢献について、地域住民の理解を深めるため「脱プラスチック」のモデルとなる木製品を作成しweb広告の媒体として活用することで、情報発信の強化を図るとともに木材利用による脱炭素化を促進させる。	①⑤

※オホーツク連携地域が推進するプロジェクト

① 省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	② 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト
③ 多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	④ オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト
⑤ 豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト	